

多様性社会における生活者と看護

一人ひとりの多様性が尊重され、誰もがその人らしく能力を発揮して参画できる社会の実現が求められている今日、看護には何が求められるのでしょうか。記念行事では、本学部初代学部長の阿曾洋子氏に記念メッセージをいただくとともに、家族の病い・看取りを体験されたフリーアナウンサーの清水健氏より話題提供をいただき、「多様性社会における生活者と看護」について、皆さまと考えたいと思います。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

ご来場いただいた方に、10周年記念グッズをお渡しします！



事前申込受付期間

4月1日(火)～9月18日(木)

お申込はコチラ

一般参加者用



※お一人ずつお申込ください。

お電話でのお申込も可能です。

チラシ下部の「お問合せ」にお電話ください。

大学および
実習施設関係者用



会場のご案内



兵庫県西宮市池開町 6-46
阪神電車「鳴尾・武庫川女子大前」駅徒歩約7分

託児サービスを設けています

申込期限7月1日まで

有料

定員5名(先着順)



※利用を希望される方は、チラシ下部の「お問合せ」までご連絡ください。

開演 13:00～開会あいさつ 高橋 享子 (武庫川女子大学 学長)

第1部 13:10～14:40

記念メッセージ 生活者と看護 360° 看護力

講師 阿曾 洋子 氏

武庫川女子大学名誉教授、大阪大学名誉教授

保健師として7年のキャリアを積んだ後、基礎看護学教育に取り組む。神戸市立看護短期大学助教授、大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授を経て、2015年に武庫川女子大学看護学部初代学部長・研究科長として着任。本メッセージでは生活者のあらゆる場面で看護力を発揮できる人材を育成する意義をお話したいと思います。

話題提供 ひとつの家族のカタチ



講師 清水 健 氏

フリーアナウンサー (元読売テレビアナウンサー)

在阪局夕方報道番組のメインキャスターを務め、現在は、フリーアナウンサーとして幅広く活動。メディア出演やイベント・セミナー司会、ファシリテーターをはじめ、自身の経験をもとに全国各地での講演会を積極的に行なっている。また、イベント企画や企業プロモーションなど、プロデュース全般にも活動の幅を広げている。講演会では、病と向きあわざるを得なかった家族の立場から、後悔や悔しさをありのままに語り、皆さまと共に「寄り添う」本当の意味を考えます。

第2部 15:00～15:55

パネルディスカッション 多様性社会における生活者と看護

パネリスト

清水 健 氏

宮川 海南 (看護学部1期生)

宮本 佳奈 (看護学部3期生・看護学研究科修士課程保健師コース10期生)

北尾 美香 (看護学研究科博士後期課程1期生・看護学部 准教授)

寶田 穂 (武庫川女子大学看護学部長・看護学研究科長)

コーディネーター

和泉 京子 (武庫川女子大学看護学部看護学科長)

清水佐知子 (武庫川女子大学看護学部・看護学研究科 教授)

閉演 ～16:00 閉会あいさつ 本間 裕子 (武庫川女子大学 看護学研究科 専攻長)

お問合せ

武庫川女子大学看護教育支援室 ※お電話でのお問合せは平日9～17時(不定期に閉室日あり)

✉ uw15@mwu.jp ☎ 0798-39-9007

看護学部HPにて
随時最新情報を更新中！

